

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境生活総務課NPO活動推進室 太田 均 電話番号 0852-22-5262

事務事業の名称	しまね社会貢献基金事業		
目的	(1) 対象	県民、企業、NPO、県	
	(2) 意図	県民や企業から募った寄附金や県拠出金で基金を造成し、活動団体への助成事業や、協働を推進する事業の実施することにより、NPO法人や社会貢献活動を行う市民活動団体の活動を支援し、県内の社会貢献活動のより一層の推進を図る。	
事業概要	県民や企業から募った寄附金で基金を造成し、しまね社会貢献基金に登録した団体（NPO法人等）が実施する活動に対して助成する（団体活動支援事業、寄附者設定テーマ事業）また、県の拠出金で基金を造成し、NPOと県が協働して取り組むモデルとなる事業を実施する。（県民との協働推進モデル事業）		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 しまね社会貢献基金への寄附件数	目標値		59.0	68.0	78.0	90.0	件
		取組目標値						
	式・定義 しまね社会貢献基金への寄附件数	実績値	51.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	13,405	26,048
うち一般財源 (千円)	0	3,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ①平成26年度に寄附したことがある県民は約7割。ただし、「しまね社会貢献基金」に寄附した人は7%（平成27年度県民WEBモニター調査結果）
- ②平成26年度のしまね社会貢献基金への寄附件数は95件だったが、平成27年度は51件となり46%減。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成28年4月1日に島根県社会貢献活動促進基金実施要綱を一部改正し、知事と基金登録団体は、相互に協力し当該団体と当該団体の活動内容等に対する認知度を高めるため、当該団体の活動内容をホームページなどにより広く周知することとした。

このことにより、54団体（平成28年6月29日現在）の基金登録団体のうち、41団体（76%）が県民に分かりやすいチラシを作成した。県は、このチラシを県のホームページに掲載し、県民への周知に努めている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

しまね社会貢献基金制度が県民等に十分浸透しているとは言えず、寄附件数が伸び悩んでいる。

②困っている状況が発生している「原因」

①しまね社会貢献基金制度が県民等によく周知されていない。

②しまね社会貢献基金に登録した団体が、どのような社会的課題の解決に取り組んでおり、どのような成果をあげてきたのかが分かりにくく、そのことが県民等の共感を生んでいない。

③原因を解消するための「課題」

①企業訪問などを通じ、直接県民に説明していくことに取り組む必要がある。

②県民活動応援サイト「島根いきいき広場」において活動実践者の思いや、活動情報を発信する団体が少ない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

①しまね社会貢献基金への寄附は、企業にとって社会貢献活動への取組みをPRする手段になることから、そのことを企業訪問活動を実施することにより、説明していく。

②しまね社会貢献基金の助成を受けた団体に対し、活動実践者の思いや、活動実績・成果を県民活動応援サイトに掲載するよう呼びかける。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）